

【第3号議案】

平成22年度事業計画に関する件

1. 春秋大会の開催

1.1 第118回春期大会

会期 : 平成22年5月21日(金)~23日(日)
会場 : 関西大学
実行委員長 : 杉本隆史(関西大学教授)
定時総会 : 平成22年5月22日(土)
研究発表講演: 平成22年5月22日(土), 23日(日)
表彰式 : 平成22年5月22日(土)
懇親会 : 関西大学100周年記念会館(5月22日)
機器・カタログ展示: 平成22年5月22日(土), 23日(日)
見学会 : 平成22年5月21日(金)

1.2 第119回秋期大会

会期 : 平成22年11月13日(土), 14日(日)
会場 : 長岡技術科学大学
実行委員長 : 鎌土重晴(長岡技術科学大学教授)
定時総会 : 平成22年11月13日(土)
研究発表講演: 平成22年11月13日(土), 14日(日)
表彰式 : 平成22年11月13日(土)
懇親会 : 長岡グランドホテル(11月13日)
機器・カタログ展示: 平成22年11月13日(土), 14日(日)

2. シンポジウム, セミナー等の開催

- 1) 第30回軽金属セミナー「アルミニウム合金の状態図と組織」(第7回)
会期: 平成22年6月(関東地区)
- 2) 軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」
会期: 未定
- 3) 第31回軽金属セミナー「アルミニウム合金の時効析出—基礎から応用まで—」
会期: 未定
- 4) その他

3. 会誌「軽金属」の発刊

本年度は Vol. 60, No. 4~12, Vol. 61, No. 1~3までの12冊を発刊する。Vol. 60, No. 7に東北支部編集特集号を刊行し, Vol. 60, No. 11に特集号「新エネルギー・省エネルギー技術を支える軽金属材料」を刊行する。また、原稿締切り期限10月1日にて、共同刊行欧文誌 Materials Transactions の Vol. 52, No. 5に刊行予定の「Aluminium Alloys 2010」」特集号の原稿募集を行う。

4. 組織と委員会活動

4.1 定時総会

平成22年度第1回定時総会を5月22日(土)関西大学において開催し、平成21年度事業報告・決算、平成22年度事業計画・予算の審議を行う。

平成22年度第2回定時総会は11月13日(土)長岡技術科学大学で開催し、平成22年度中間事業報告および中間収支決算、並びに平成23年度事業計画および予算の審議を行う。

4.2 理事会

年7回の理事会を開催し、会務、事業運営に伴う審議決議事項を諮る。

4.3 参与会

年2回程度開催し、産学官の密接な連携のもとに、軽金属の将来に対する意見交換を行い、特にユーザー側からの助言を得る。

4.4 組織委員会

各委員会組織の構成、新設改廃、役員・評議員について助言を行う。

4.5 財務委員会

学会運営に関わる財務諸問題、収支決算・予算、会員増強問題、中長期計画に基づく財務強化計画の審議策定を行う。

4.6 総合計画委員会

学会の将来に向けて、新法人への移行、創立60周年記念事業ほかの重点課題について、具体的な施策を検討する。

4.7 総務委員会

事業報告、事業計画の審議をはじめ、学会規程類の見直し整備、その他本会の運営に必要な事項の審議を行う。また、新法人への移行の準備作業を推進する。

4.8 企画委員会

学会の活性化事業展開を図り、事業収益増をはかる事業としてシンポジウム、セミナーを充実させ、より時代にマッチした企画を行う。

4.9 編集委員会

投稿論文の校閲・査読、解説等依頼原稿の検討による会誌「軽金属」の刊行を行うとともに、投稿規程・執筆要領の見直しおよび研究部会報告内容の会誌への事前投稿の検討を行う。また、11月特集号「新エネルギー・省エネルギー技術を支える軽金属材料」を刊行する。

	研究部会名	課題
1	アルミニウム板のトライボロジー研究部会	アルミニウムの圧延において表面品質に優れた板材を提供できる基本条件を見出すこと
2	摩擦攪拌プロセスによる接合と表面改質研究部会	摩擦攪拌プロセスの諸現象と継手強度、表面改質などに関する調査・応用研究
3	集合組織研究部会	集合組織を十分理解し、工業的応用への展開を図ること
4	塑性加工によるマグネシウム合金新機能発現研究部会	マグネシウム合金の持つポテンシャルを十分に発揮させるための塑性加工技術の確立
5	表面処理技術研究部会	アルミニウム材料の表面微視的構造と処理性および塗装性・耐食性との相関を明らかにすること
6	アルミニウム溶湯による耐火物浸食機構研究部会	アルミニウム溶湯と耐火物との反応性、浸食機構の究明を行うこと
7	アルミニウム圧延生産技術研究部会	アルミニウム板圧延の、特に板厚関連の品質不良について、技術レベルの向上を図ること

4.10 研究委員会

本年度は前年度から継続の7部会で研究事業を実施するとともに、新規部会の立ち上げを行う。常設部会では、前年度に引き続きロードマップの見直しを行うとともに、新規プロジェクトの検討を行う。

4.11 國際交流委員会

2010年9月5日～9日に横浜で開催する第12回アルミニウム合金国際会議（ICAA12）に向けて、組織委員会、実行委員会にて準備を推進、実施する。また、前年同様、アジア地域の交流を目指したICP（International Communication Program）の活動を実施する。

4.12 広報委員会

ホームページの抜本的改善を図るとともに、将来の会員増強を見据えた広報活動を行う。

4.13 大会運営会議

春秋大会の運営に対して、中長期的な規模に立ち、横断的な計画の策定を行う。ポスター発表の拡充をさらに推進するとともに、各大会のプログラム編成作業を実施する。

5. 支部活動

支部長会議は主として春秋大会の折りに開催し、今後の大会開催地の決定、各支部の活動状況報告、支部費配分等の検討を行う。また、創立60周年記念行事の立案を行う。

5-1 北海道支部

1. 講演会（主催、協賛）(1回)
2. 支部理事会、支部評議員会(1回)
3. 支部総会(1回)

5-2 東北支部

1. 役員会、幹事会(2回)
2. 講演会(3回)
3. 協賛事業（随時）

5-3 関東支部

1. 支部運営委員会(4回)
2. 支部総会（含む講演会）(1回)
3. 支部若手研究者ポスター講演会(1回)
4. 企業見学会（含む講演会）(1回)
5. 支部ホームページ更新
6. 第119回秋期大会（於 長岡技術科学大学）の実行援助

5-4 北陸支部

1. 幹事会(2回)
2. 講演会(2回)
3. 幹事研修会(1回)
4. 協賛事業 隨時(4件程度)

5-5 東海支部

1. 会議関係

- (1) 総会(1回)、開催時期：平成22年4月16日
- (2) 評議員会(1回)、開催時期：平成22年4月16日
- (3) 理事会(3回)、開催時期：未定

2. 企画行事等

- (1) 講演会(2回)
 - 第1回講演会：平成22年4月16日
 - 第2回講演会：平成22年12月～平成23年1月
- (2) 若手研究者・技術者のための軽金属基礎講習会：平成22年9月～10月

3. 研究部会（航空機材料部会、プレス加工部会、若手の会）

開催時期：未定

4. 支部協賛事業：詳細未定

5-6 関西支部

1. 理事会 1回
2. 拡大幹事会 2回
3. 高橋記念賞推薦
4. 軽金属学会功労賞推薦
5. 軽金属希望の星賞推薦
6. 研究会等
 - 6-1 研究会
 - (1) 若手研究者サマースクール
 - (2) 軽金属関西支部シンポジウム
 - (3) 若手研究者発表会
 - 6-2 出前講座
 - 6-3 大学院生フィールドワーク助成プログラム
 - 6-4 共催企画
7. 第118回春期大会（於関西大学）の実行援助

5-7 中国四国支部

1. 第2回支部講演大会の開催（岡山）
2. 研究会の開催(2回)：中国地区で1回、四国地区で1回開催
3. 若手フォーラムの開催(1回)
4. 支部役員会の開催(1回)
5. 支部各賞の授与（奨励賞、優秀講演賞、研究・開発奨励賞）

5-8 九州支部

1. 平成22年6月：日本金属学会・日本鉄鋼協会九州支部合同学術講演会共催（於 熊本大学）
2. 平成22年7月：第83回役員会（於 株式会社神戸製鋼所）
3. 平成22年7月：第83回例会（於 株式会社神戸製鋼所）
4. 平成23年2月：第84回役員会（於 熊本大学）
5. 平成23年2月：第84回例会（於 熊本大学）

6. 表彰

第13回軽金属学会賞、第8回軽金属功績賞、第12回軽金属学会功労賞、平成22年度軽金属論文賞、平成22年度軽金属論文新人賞、第45回小山田記念賞、第33回高橋記念賞、第28回軽金属奨励賞、第9回軽金属躍進賞、第2回軽金属女性未来賞、平成22年度軽金属希望の星賞を選考、表彰する。

表彰式は軽金属学会賞、軽金属功績賞、軽金属学会功労賞を第118回春期大会の平成22年5月22日（土）、その他の表彰式は第

119回秋期大会の平成22年11月13日（土）に挙行する。

7. 他学協会との連携

日本学術会議、材料連合協議会、材料戦略委員会、日本工学会等と連携を保つとともに、日本金属学会、日本鋳造工学会、日本塑性加工学会、日本材料学会、日本鉄鋼協会、日本機械学会など、他学協会との研究発表、シンポジウムの共催、協賛などの協力を積極的に行う。